

会 議 要 旨	
◎会 議 名	第 32 回合志市中小企業等活性化会議
◎開 催 日 時	令和 2 年 2 月 20 日（木） 10 時～11 時
◎場 所	合志市役所 2 階大会議室
◎出席委員	池永幸生会長・池永けいこ委員・松崎由紘委員・坂井秀明委員・鈴木憲治委員・峯隆吉委員・松岡正弘委員・穴井憲義委員・野見山秀樹委員・坂井さゆり委員・松本真理委員・齋藤正昭委員・工藤一伸委員・高島圭二委員・岡田竜太郎委員
◎欠席委員	後藤一利副会長・出家健治委員・岩岡俊宏委員
◎出席者	《事務局》松田課長・九重課長補佐・宮崎（記）
◎議 題	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議題 1) 優良中小企業表彰推薦について 2) ルー口合志の活用について 4. その他 5. 閉会

【開 会】

（事務局：九重課長補佐）

皆様こんにちは。定刻になりましたので、会議を開催いたします。まずはあいさつではじめますのでご起立をお願いいたします。

こんにちは。

ご着席ください。

（事務局：九重課長補佐）

本日の進行を務めます事務局の九重と申します。よろしく申し上げます。

それでは、次第に沿って進めます。まず初めに開会の挨拶として、商工振興課長の松田より皆様に挨拶申し上げます。

（事務局：松田課長）

皆様こんにちは。本日は第 32 回合志市中小企業等活性化会議にご出席いただきありがとうございます。本会議についてですが、委員の皆様の任期が平成 30 年度から今年度末の 3 月までとなっており、任期中の最後の会議となります。是非、本会議において委員の皆様からの市内企業の活性化につながるようなご意見をいただければと思います。それでは第 32 回合志市中小企業等活性化会議を開催いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局：九重補佐)

続きまして、次第の会長挨拶に移ります。池永会長よろしく申し上げます。

(池永会長)

皆様こんにちは。今期6回目の会議になります。私たちの任期も今回の会議で最後となります。最近コロナウイルスの件が話題となっておりますが、この問題がはやく収束に向かえばなと考えております。今回の会議の議題は2つあります。ひとつはルー口合志の活性化です。今後ルー口合志を核として、中小企業の活性化になるようなことを発信していく必要があるのではと考えております。また、もう一つの議題は毎年実施しております、優良中小企業表彰推薦についてです。最後になりますが、この会議が企業の皆様にどれだけ貢献できたのか未知数ではございますが、日頃より皆様のお力のおかげで市内各企業がここまで来れたのではないかなと思います。ありがとうございました。

(事務局：九重課長補佐)

ありがとうございました。それでは次第にあります議題に移りたいと思います。ここからの議事進行につきましては、中小企業等活性化会議設置要綱の第6条第2項の規定により、議長は会長が当たるとなっておりますので、今後の議事進行につきましては池永会長にお願いしたいと思います。池永会長よろしく申し上げます。

【議 題】

(池永会長)

それでは議題に移りたいと思います。まず、議題1についてです。優良中小企業表彰推薦について事務局より説明をお願いします。

(事務局：九重補佐)

それでは資料に沿って「優良中小企業表彰」について説明いたします。

～ 別紙資料「優良中小企業表彰について」説明 ～

(説明要旨)

- ・令和元年度については市商工会から「株式会社峯樹木園」、市企業等連絡協議会から「熊本工業用品株式会社」の推薦があった。
- ・推薦企業の企業紹介と推薦理由について説明。
- ・本会議で推薦企業2社について審査を行う旨を説明。
- ・審査後のスケジュールについて説明。(優良中小企業として認定された場合は令和2年度の各団体の総会等にて表彰を行う。)

(池永会長)

優良中小企業表彰についての説明でした。それでは市商工会、市企業等連絡協議会より推薦のありました2社について、優良中小企業表彰要綱に基づき審査いたします。推薦企業2社についてですが、推薦書を確認したところ、優良中小企業として相応しい企業と判断できますので認定することは問題ないと考えますが、委員の皆様からご意見ありますでしょうか。

(池永会長)

ないようでしたら、推薦企業2社を令和元年度の優良中小企業として認定いたします。それでは次の議題に移ります。次は「ルーロ合志の活用について」です。事務局より説明をお願いします。

(事務局：宮崎)

合志市商工振興課の宮崎と申します。議題であります、「ルーロ合志の活用について」説明いたします。

～別紙資料であるルーロ合志の概要資料及び地域課題解決型創業支援セミナーについて説明～

(説明要旨)

- ・ルーロ合志のテナント、立地、管理運営方法、コワーキングスペース、マイクロオフィス等の概要について説明。
- ・ルーロ合志にて実施した地域課題解決型創業支援セミナーについて説明。

(事務局：松田課長)

ただいま説明しましたとおり、ルーロ合志には市商工会さんや熊本信用組合といった、経営、金融支援機関が入居しており、今後市内の中小企業活性化のための拠点として使っていきたいと考えております。このことについて委員の皆様から、「ルーロをこういったことに使える」など様々なご意見を頂いて、今後の展開に繋げていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(池永会長)

商工会もルーロに入ってます。移ったのはいいことですが、ルーロ合志に準備してある商工会の看板が小さいです。会員の人もわかりづらいと思います。これについては他の入居者の方も同じことを考えてると思いますので、その点について考慮して頂けると助かります。

その他委員の皆様から何かご意見ありますでしょうか。

(鈴木委員)

改修工事をしているみたいですが、以前と比べて内観などは変わったのでしょうか。

(事務局：九重課長補佐)

以前の西合志庁舎と比べると、外観はあまり変化してませんが、内観については改修いたしましたので、近代的な雰囲気になっていると思います。

(池永会長)

1階にあるフリーラウンジも広く、ゆったりとくつろげるようになってます。ここでは打ち合わせや会議、飲食もできるみたいです。

(工藤委員)

マンガミュージアムのイベントもフリーラウンジで開催しておりますが、100人規模で開催いたしました。そういった使い方もできると思います。

(事務局：松田課長)

ラウンジではありますが、音響機器やモニターがありますのでセミナーといった使い方もできます。

(池永会長)

フリーラウンジの使用等についての料金規定はあるのでしょうか。

(事務局：松田課長)

公共施設の跡地で民間であるこうし未来研究所がテナント運営をしているかたちになっておりますので、詳細はわかりませんが準備していると聞いてます。

(池永会長)

九州経済産業局との連携事業としてルーロ合志で創業セミナーを2月に開催しておりますが、これについて何か岡田さんから補足事項があればお願いします。

(岡田委員)

次年度も九州経済産業局と連携して今回みたいなセミナー等をルーロ合志で実施していく予定です。また、前回の会議で創業スキームのご説明をしましたが、その拠点をルーロ合志にしていきたいと考えております。

また、商工会さんや県信用保証協会との連携も強化していきますので、引き続きルーロ合志を中心として創業支援を実施していければと考えております。

(穴井委員)

2階のコワーキングスペース等の活用はどういったことを考えているのかも一度教えてください。

(事務局：松田課長)

一つはコワーキングスペースということで創業希望者や創業者の集う場所となっております。スペースの使用料を払ってもらえば、誰もが利用できるスペースです。またマイクロオフィスも併設しており、通常のテナントスペースよりも安価に借りることができるので創業したばかりの事業者の方に最初のスタートアップとして事務所利用してもらうことを想定しています。

(穴井委員)

中小企業活性化会議の最初の主旨に今おっしゃられた考え方があったと思います。以前もお話したと思いますが、北海道釧路の屋台村についてです。屋台村は行政が作って、2年間無料で貸すということで作っています。目的としては飲食業のスタートアップとして、2年間のうちに経営ノウハウを身に付けてもらい、その後釧路市内でお店を開いてくださいという考え方です。ルーロ合志もコワーキングスペースを単なる場所の提供ではなく、新規創業者が創業しやすくなるようなことを深く考えて実施したほうが意味あるものになると思います。

(事務局：松田課長)

来年度以降は商工会、信用保証協会、その他金融機関と連携し、創業支援をしていくスキームを準備しております。また、市内創業者を対象にスタートアップに向けた補助制度も考えております。当市の特性上、市街化調整区域が大部分を占めており、市内で店舗を構えるのが難しい中、このルーロ合志ができましたので活用してもらえよう支援を強化していきたいと考えてます。

(穴井委員)

創業者はお金がないので、行政が何かしらの金融支援をしてもらえるといいと思います。そういったことも含めて、本会議で議論するといいのではないのでしょうか。

(池永会長)

ルーロ合志については行政と運営者であるこうし未来研究所が共同で考えながら支援をしていってほしいと思います。

その他何か質問ありますでしょうか。

(池永会長)

ないようですので、次に進めます。これで議題はすべて終了いたしました。その他何か意見等ございますでしょうか。

(穴井委員)

新型コロナウイルスの問題が今後熊本でも間違いなくあると思います。薬が18か月くらいかかると聞きますので、このまま被害が続くと私たち中小企業が危機的状況に陥る可能性があると思います。そこで私と熊本学園大学が2年間かけてBCPの策定支援をやってきていますので、こういう危機的なことが起こる前に活性化会議のなかでBCPの勉強会を実施して、意識

を高めていくことが重要ではないかと考えます。是非このことについては検討してみてもどうかと思います。

(事務局：九重補佐)

ご意見ありがとうございます。今後の活性化会議の中で、BCPの件や事業承継問題の件など、市内中小企業者が抱える課題があると思いますので、議題として検討していきたいと思えます。それ以外でも議題として今後会議で取り上げた方がいいようなことがありましたら、いつでも結構ですので事務局までご連絡ください。

(穴井委員)

例えば、今何をすべきかという行政が主導になって、企業の人を対象にBCPの勉強会をしていくことが意味あるのではと思います。是非早めの検討をしていただきますようお願いいたします。BCPの先生については学園大学の吉川先生も知り合いですし、無料でもしてくれますので、ご紹介できます。

(池永会長)

今の意見は今後重要になってきますので是非ご検討をお願いします。
他に何かありますでしょうか。ないようですので事務局に進行をお返しします。

(事務局：九重補佐)

池永会長ありがとうございました。本日の議事内容については市のホームページに掲載いたします。

最後に閉会の挨拶を課長の松田が申し上げます。

(事務局：松田課長)

第32回の中小企業活性化会議にご出席いただきありがとうございました。また、冒頭でも申し上げましたとおり、今回が今期の最後の会議となります。委員の皆様には2年間大変お世話になりましたことをこの場をお借りして感謝申し上げます。今後も様々な場面で委員の皆様から中小企業の活性化についてご意見いただければと思いますので引き続きよろしく願いいたします。

それでは第32回中小企業等活性化会議を閉会いたします。ありがとうございました。